

## 精神疾患・身体合併症センターに搬送された患者さんへ（臨床研究に関する情報）

本院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療情報等を使って行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この臨床研究は倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、研究機関の長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》 身体合併症を契機に精神科病院から転院となったクロザリル症例の実態

《研究機関名・研究責任者》 関西医科大学総合医療センター 精神神経科 精神保健福祉士 山田妃沙子

《研究の目的》 本研究は、身体合併症の治療を目的に当院の精神疾患・身体合併症センターに転院してこられた患者さんに対して、体の不調がクロザリルという薬剤の副作用と関係しているかどうかを調べ、より良い治療を行うための参考にすることを目的としています。

《研究期間》 所属研究機関の長の許可が出た日～2027年3月31日

《研究の方法》

●対象となる患者さん

当院の精神疾患・身体合併症センターに搬送され、2018年7月1日から2025年6月30日の間に入院加療されたクロザリル内服中の患者さん

●研究に用いる情報の種類

情報：年代、性別、診断名、重症度、手術の有無、内服薬情報、クロザリル治療期間、処方量、クロザリル継続の有無、症状出現から転院までの期間、転帰

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関する研究計画書の情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の妨げとなる事柄以外はお知らせすることができます。

《この研究での診療情報等の取扱い》

診療情報等は、患者さんの氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。

《同意撤回について》

同意撤回の申し出があった場合は、速やかにデータを削除します。ただし、本研究成果を公表した後は、データを削除することはできません。

《本研究の資金源・利益相反について》

この研究は外部の企業等から資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、患者さんの不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は「関西医科大学利益相反マネジメントに関する規程」に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ています。

\* 上記の研究に利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

関西医科大学総合医療センター 精神神経科 精神保健福祉士 山田妃沙子  
大阪府守口市文園町 10-15  
電話 06-6992-1001 (代表)